

特集

2019

9月29日 日

開演17:00~

たましんRISURUホール

(立川市市民会館)大ホール

白鳥祐司

【脚本・演出】



音楽舞踊劇

新選組・土方歳三について、脚本・演出の白鳥祐司さんにお聞きました。

「新選組・土方歳三」を選んだ理由は？

もう十数年前になるでしょうか。上妻宏光さんという素晴らしい三味線プレイヤーの奏でる音色を初めて耳にした日は、衝撃と共に、身体中に湧き上がるあの高揚感を今でも記憶しています。そして2年前、上妻さんがデーモン閣下、能楽師の山井綱雄さんと共に、能舞音楽劇「義経記」を公演されていると伺いました。今回、上妻さんの音楽を軸に朗読劇をというお話で公演のプロデューサーよりいただきまして、どのような作品が良いものか、相談と思案を重ねました。そして導かれたひとつの答えが新選組。その上で、伝統と革新を掲げ、三味線による更なる音楽の創作を迫られておられる上妻宏光という三味線プレイヤーと向き合った時「新選組副長・土方歳三」を描きたい、そう強く思いました。

「新選組・土方歳三」の見どころは？

今や日本の文化とも称されるマンガやアニメーション。その中でも「新選組」を描いた作品はやはり不動の人気を誇っています。人気を支えている根幹には、「喜怒哀楽」それぞれの人間ドラマがあり、それを見る私たちが、それぞれにまた想いを重ねずにはられない。そんな魅力があるのだと感じています。今回の「音楽舞踊劇 新選組・土方歳三」の語りは、「鳥唄」や「風になりたい」等のヒット曲を生み出し、国境を越え幅広く音楽活動をされております宮沢和史さん。土方歳三はもちろん、近藤勇や沖田総司といった配役もすべておひとりで演じて下さいます。上妻宏光さんが演奏される数々の楽曲は、「音楽舞踊劇 新選組・土方歳三」バージョンとして、新たにアレンジされています。ダンスパフォーマンスは「すべてのカテゴリーに属し、属さない曖昧な眩さ」をスローガンに掲げ、「和」を含め比類ない世界観を持ち、独創性で富んだ作品で海外からも高い評価を得ているDAZZLEさん。新選組隊士の成長や葛藤、そして有名な「池田屋」での出来事を、繊細かつダイナミックに表現していただきます。物語のクライマックスでは、宮沢さんと上妻さんのコラボレーション作品「みだれ桜」もお聴きいただけますので劇場にてご堪能下さい。

白鳥祐司
(脚本・演出)

俳優として活動すると共に、主宰する芸術芸能集団「白鳥歌舞喜Shiratorikabuki」では演劇・殺陣・日本舞踊を巧に織り交ぜた気鋭の作品で脚本・演出・主演を担う公演を開催。また、ヒュー・ジャックマン主演のハリウッド映画「ウルヴァリン：SAMURAI」ジャパンプレミア試写会では、オープニングアクト殺陣演出・出演を務める。ロサンゼルスやラスベガス、台湾やパプアニューギニアなど海外公演の演出、出演など活動の場は多岐にわたる。

絶賛発売中!!

たましんRISURUホール(立川市市民会館) 042-526-1311

お問い合わせ

※他チケット販売所の詳細は、裏面にも記載してございます。

音楽舞踊劇

新選組・土方歳三

「慶応から明治。平成から令和。新たな時代を迎える今、皆さんの背中を押す、一歩の手助けになれば!」

おススメ公演!!

宮沢和史【語り】

上妻宏光【音楽・演奏】



DAZZLE【舞踊】

「新選組・土方歳三」を通じて伝えたいことは？

幅広く愛される新選組、そして土方歳三。幕末と呼ばれる激動の時代を命懸けで生きた彼らの姿は私たち現代人の心を、力強くふるい立たせてくれる。改めて彼らの事を知れば知るほどそう感じさせてくれました。彼らもそうだったように、人には皆、それぞれに生き方がある。それは決して善し悪しで決める事の出来ないそれぞれの大切な人生。迷う時もあり、苦しい時もきっとある。私自身、作品執筆を通じ、幾度となく迷い苦しい時もありました。ですがそんな時はいつも「そのままが良い、信じた道を進め」と彼らが背中を押してくれたように感じました。幕末と呼ばれた時代、そして現代、同じように時代の転換期を迎えた二つの時代。慶応から明治。平成から令和。新たな時代を迎える今、本作品が皆さんの背中をそっと、一歩の手助けになるような事があればこの上ない幸せです。

上妻宏光さんの演奏と宮沢和史さんの歌唱、DAZZLEさんのダンスでどんな展開がされていくのですか？

先にも述べましたが、皆さんがご存知のあの曲から最新曲まで、上妻宏光さんの演奏楽曲は、この作品「音楽舞踊劇 新選組・土方歳三」のために新しくアレンジされたものが多数入っています。そして時に朗々と、時に情感あふれる朗読と共に歌を通して、幕末の獅子達が何を想い、どう生きたのかを、宮沢和史さんに語っていただいております。DAZZLEさんには、激動の時代を生きた彼らの想いや姿を、ダンスパフォーマンスで表現していただけるものと思っております。宮沢和史さん、上妻宏光さん、DAZZLEさんという素晴らしい表現者の方々が一体となり、幕末の獅子達を現代に蘇らせる。「音楽舞踊劇 新選組・土方歳三」。皆さんと共に、今か今かと楽しみにしております。

没後

150



歳三×日野

Toshizo Hijikata

©2019 Hino City

出演者からのメッセージ

上妻宏光

三味線プレイヤー

朗読に宮沢和史さん、ダンスにDAZZLE、そして音楽は僕、という各出演者で「新選組の土方歳三」を題材とした舞台。ほんの少し前まで同じ民族同士が争っていた時代があり、それを経て今がある。この舞台には歴史的な側面と、土方歳三の人生からひもとく現代に通ずる生き様を私達なりの解釈で表現しており、お越しいただいた方々にとって明日の活力に昇華してもらえそうな舞台となれましたら幸いです。そして、皆様に観て聴いて頂き、他にはない私達の世界も感じていただければと思います。

上妻宏光



茨城県出身。6歳より津軽三味線を始め、幼少の頃より数々の津軽三味線大会で優勝するなど、純邦楽界で高い評価を得る。

ジャンルを超えた国内外アーティストとのセッションは各方面から注目を集め、世界30か国以上で公演を行う。

2013年安倍内閣総理大臣主催の「TOKYO 2020公式夕食会」、「第5回アフリカ開発会議公式首脳晩餐会」では日本を代表して演奏を披露。

ボーダレスな活動を重ねながら、伝統をふまえてついで時代に合った感性を加え、津軽三味線の“伝統と革新”を追求し続けている。

また日本全国の小学校において日本の伝統音楽の魅力を伝える授業を行っており、次世代への文化伝承にも力を注ぐ新世代津軽三味線奏者の第一人者である。

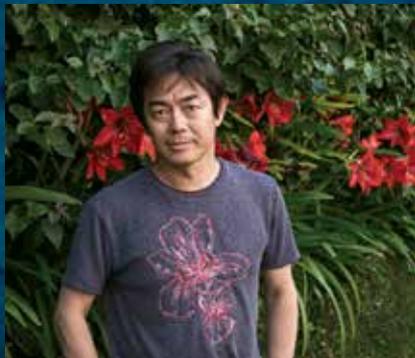
【オフィシャルHP】<http://agatsuma.tv/>

宮沢和史

シンガー・ソングライター

これまでに詩の朗読会は何度も開催してきましたが、朗読劇、しかも、朗読と音楽と舞踊のみの舞台劇というのは経験したことがありません。お稽古をやるたびに思う事なんです、目で見える情報が極端に少ないだけに、かえって皆様の想像力がかき立てられ、景色や人物像を限定する事なく、それぞれ違う映像がお一人お一人の心に浮かぶのではないかと期待しています。そのためにも伝わる朗読を頑張ろうと思います。

宮沢和史



1966年山梨県甲府市生まれ。THE BOOMのボーカリストとして1989年にデビュー。これまでにTHE BOOMとしてアルバムを14枚、ソロでは4枚、GANGA ZUMBAとしては2枚リリースしている。作家としても、石川さゆり、喜納昌吉、矢野顕子、夏川りみ、MISIA、中島美嘉、岡田准一、鳥袋寛子、平原綾香、Kinki Kids、大城クラウディアなど、多くのミュージシャンに楽曲を提供。代表曲のひとつ「鳥唄」はアルゼンチンでの大ヒット(2001年)を記録し、国境を越えて今なお世界に広がり続けている。

デビュー25年を迎えた2014年、日本武道館でのライブを最後に、THE BOOMの歴史に幕を閉じ、しばらくの充電期間を経て、2018年11月より本格的な歌手活動を再開。現在沖縄芸術大学で非常勤講師も務める。

【宮沢和史公式サイト】
<http://www.miyazawa-kazufumi.jp/>

【Twitter】https://twitter.com/miyazawa_info

DAZZLE

ダンスカンパニー

上妻宏光さん、宮沢和史さんによる至高の演奏、そして声に包まれた空間に立った時、それはなんと贅沢な時間なんだろうかと、心が満たされていくのを感じました。また、その中であって、テレビやラジオ、本に芝居にと、あらゆる形で語り継がれてきた新選組、そして土方歳三の伝説を、僕たちDAZZLEが共に演じるのなら、他には類をみない独特な表現にしたいという強烈な思いに駆られています。彼が貫いた信念に倣って。

長谷川達也
(DAZZLE)



1996年結成。「すべてのカテゴリーに属し、属さない曖昧な眩さ」をスローガンに掲げ、比類ない世界観を持ち、独創性に富んだ作品を生み出し続けるダンスカンパニー。ストリートダンスとコンテンポラリーダンスを融合させた独自のダンススタイルで、代表作「花田圃」は海外の演劇祭を含め国内外問わず多数受賞。

2016年には結成20周年記念公演「隣人輪舞」で観客投票によるリアルタイムマルチエンディングを採用。そして2017年には日本ではまだ新しい体験型公演と呼ばれるイマーシブシアター「Touch the Dark」を制作し、チケットが即日ソールドアウトするなど初演含め2年に渡り3度上演、好評を博す。

また2018年にはDAZZLEがプロデュースし出演もした東京ワンピースタワー×イマーシブシアター「時の箱が開く時」を上演し、チケットが7分でソールドアウトしたため2019年に再演。常に業界内外を問わず“新しい体験”を提供し続けている。

【オフィシャルHP】<http://www.dazzle-net.jp>

2019年9月29日(日) 17:00開演(16:30開場)

チケット料金/全席指定

S席¥5,000

A席¥4,500 親子割引(A席のみ)小・中学生1名¥500

※未就学児入場不可

※友の会1割引(1公演2枚まで)

当館友の会「ムーサ友の会」割引料金/割引額です。

※有料簡易託児サービス。公演日の10日前までにお電話でお申し込みが必要です。定員になり次第締め切らせていただきます。満1歳以上の未就学児。お子様1名¥1,000。

※車いすのままご鑑賞になることのできるお席があります。詳しくはお問合せ下さい。

チケット発売所

- ・たましんRISURUホール(立川市市民会館) 042-526-1311
- ・財団オンラインチケット
<http://www.tachikawa-chiikibunka.or.jp/>
- ・e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

チケットお問合せ

たましんRISURUホール(立川市市民会館) 042-526-1311
窓口販売・電話予約
9:00~20:00(第3月曜休館、祝日の場合は翌平日休館)